

機械器具 75 脱疾治療用具
一般医療機器 脱疾治療バンド（JMDNコード：35409000）

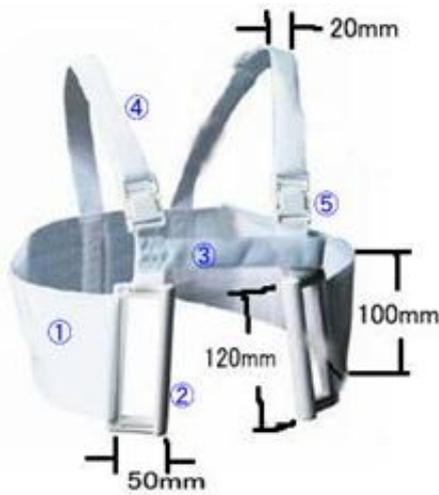
ハートホルダー

【警告】

- ・本製品を洗濯しないで下さい。
[材質の伸び・縮み等により強度が低下する恐れがあります。]
- ・製品に破損や切れ、伸び縮み、汚れ等がある場合は使用を中止して下さい。
- ・医師の説明に従って使用して下さい。
- ・もし、使用中に苦しくなったり、気分が悪くなったりした場合は、本製品を一旦外して様子を見て下さい。

【形状・構造又は原理】

（形状図）



- ①バンド
②ハンドル
③ハンドル保持ヒモ
④肩ヒモ
⑤肩ヒモ固定ロック

（図中構成部の説明）

1. ①のバンドで、胸部を押さえる。
2. ②のハンドルで、胸部のバンドの前面の間隔を整える。
3. ③のハンドル保持ヒモで、ハンドル間隔を決める。
4. ④の肩ヒモで、バンドの上下位置を決める。
5. ⑤の肩ヒモ固定ロックで、肩ひもを固定する。

（原理）

胸骨切開後の予後管理で胸骨の癒着を確実にするべく、患者に合った胸部の保持を適宜にできる。患者自身でも、一次的に調節でき、かつ、通常時に圧迫感を与えない構造の胸部を保持できるバンド。

【使用目的、効能又は効果】

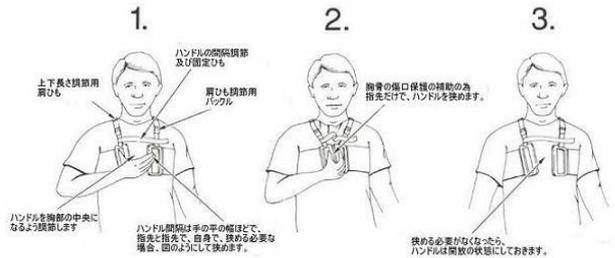
心臓手術など、開胸手術を受けた患者の術後管理、予後管理に用いるもので、患者の胸部の治癒を助ける事を目的とする。

【品目仕様】

1. 品質
 - 1) バンドの引張り強度：50N以上
 - 2) バンドの引張り伸び：50Nの引張りに対し、伸びが3%以下
2. 安全性
本製品の材質は、衣料や日用品などに用いられている一般的な材料を使用しており、安全です。

【操作方法又は使用方法等】

1. 使用方法



- 1) 上衣服の一番上に、肩ヒモとバンドの間に腕を通してベストを着用する様に装着して下さい。
- 2) 肩ヒモの位置が適宜に決定したら、肩ヒモ固定用バックルで固定する。ハンドル固定ヒモは、マジックテープの接着性の高いテープで巻いて固定して下さい。
- 3) くしゃみ、咳、階段の上り下り、ベッドの起床就寝、あるいは、車椅子への乗降など、胸部を開く恐れがある場合には、患者様ご自身が片手で左右ハンドルを狭めて、胸骨を守るようにして下さい。（上の図の中央図）

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意事項

- 1) 本製品は、予め医師の説明・指示を受け、内容を理解してから使用して下さい。
- 3) 使用目的以外の目的で本製品を使用しないで下さい。

2. 一般的注意事項

- 1) 本製品の使用（装着）時期は概ね次のとおりです。
「集中治療室を離脱した時」から「退院後2～3週間」の間
- 2) 「ハンドル」の間隔がきつくならないように調整して下さい。
（※患者様ご自身でハンドルの間隔を握りながら締めることができるような適度な間隔が必要です。）
- 3) ベッドに横になるときなど、装着位置がずれてしまうことがありますので、その際は適宜位置を調整して下さい。

【貯蔵・保管方法・使用期間等】

本製品の形状が購入時と比べて著しく伸びてしまった場合や、本製品が著しく汚れてしまった場合は、その製品の使用をおやめ下さい。

【保守・点検に係る事項】

特になし。

【包装】

1個入り／1箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

・製造販売業者：株式会社カルディオメド
住所：神奈川県相模原市緑区二本松4-27-28-301
電話番号：042-855-6005

・製造業者：ファースシスジェイピー株式会社